

1. 父母と先生の会（PTA）規約

改正	平成 9 年	4 月 1 9 日
改正	平成 1 1 年	4 月 2 4 日
改正	平成 1 6 年	4 月 2 4 日
改正	平成 1 8 年	4 月 2 2 日
改正	平成 2 0 年	4 月 1 6 日
改正	平成 2 7 年	4 月 2 5 日

第 1 章 名称及び事務所

第 1 条 この会は、竹園東小学校父母と先生の会（PTA）という。

第 2 条 この会は、事務所を竹園東小学校に置く。

第 2 章 目的及び活動

第 3 条 この会は、父母と教師が協力して、家庭と学校と社会における児童、生徒の幸福な成長をはかることを目的とする。

第 4 条 この会は、前条の目的をとげるために、次の活動をする。

1. よい父母、よい教師となるようつとめる。
2. 家庭と学校との緊密な連絡によって児童・生徒の活動を補導する。
3. 児童・生徒の生活環境をよくする。
4. 国際親善につとめる。

第 3 章 方針

第 5 条 この会は、教育を本旨とする民主団体として、次の方針に従って活動する。

1. 児童・青少年の教育並びに福祉のために活動する他団体及び機関と協力する。
2. 特定の政党や宗教にかたよることなく、又もっぱら営利を目的とするような行為は行わない。
3. この会又はこの会の役員の名で、公私の選挙の候補者を推薦しない。
4. 学校の人事その他管理には干渉しない。

第 4 章 会員

第 6 条 この会の会員となることのできるものは次のとおりである。

1. 竹園東小学校に在学（籍）する児童の父母、又はこれに代わる者。
2. 竹園東小学校の校長及び教職員。

第 7 条 この会の会員は、会費を納めるものとする。

2. 会費は 1 家庭につき月 3 0 0 円とし、前納することができる。

第 8 条 会員は、すべて平等の義務と権利とを有する。

2. 総会の出席数及び委任状数、総会及び信任投票時の票数等は、家庭単位で計数する。

第 9 条 この会の会員は、つくば市協議会、茨城県協議会、及び全国協議会の会員となる。その他の団体に登録する際には、運営委員会の承認を得るものとする。

第 5 章 経費

第 1 0 条 この会の活動に要する経費は、会費及びその他の収入によって支弁される。また、会の収入として寄附金を受け入れることができる。

第 1 1 条 この会の経費は、総会において議決された予算に基づいて行われる。

第 1 2 条 この会の決算は会計監査を経て、総会に報告され、承認を得なければならない。

第13条 この会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 役員

第14条 この会の役員は次のとおりである。

会長 1名、副会長 1名以上、書記 2名、会計 2名

2. 役員は他の役員、会計監査委員又は選挙管理委員を兼ねることができない。

第15条 役員は、総会において総会出席者の過半数又は信任投票において信任投票締め切り日現在の会員総数の過半数の承認によって決定する。

2. 役員選挙にあたり2名の選挙管理委員をおき、任期は1年とする。

3. 選挙管理委員の選出は年度当初の運営委員会で推薦された会員を、定期総会で承認する。

4. 選挙管理委員が任期なかばにおいて児童の転校等の事由により退会した場合、その後任は運営委員会の議を経て選任される。但し、補欠の役員の任期は残任期間とする。

第16条 役員の任期は1年とする。

2. 役員は引き続いて同じ役員もしくは他の役員に選任されることができる。但し、同じ役員の職にあることが連続して2年を越えてはならない。

3. 役員が任期なかばにおいて児童の転校等の事由により退会した場合、その後任は運営委員会の議を経て選任される。但し、補欠の役員の任期は残任期間とする。

第17条 会長は次の職務を行う。

1. 総会及び運営委員会を招集する。
2. 運営委員会の議を得て各種委員会の委員長を委嘱する。

第18条 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代行する。

第19条 書記は次の職務を行う。

1. 総会及び運営委員会の議事並びにこの会の活動に関する重要事項を記録する。
2. 記録その他の書類を保管する

第20条 会計は次の職務を行う。

1. 総会が決定した予算に基づいて、いっさいの会計事務を処理する。
2. 定期総会のつど、会計報告をする。
3. 定期総会において、会計監査委員の監査を経た決算報告をする。
4. この会の財産を管理する。
5. 予算（案）を作成し、運営委員会に提出する。

第7章 会計監査委員

第21条 この会の経理を監査するために、2名の会計監査委員を置く。

第22条 会計監査委員は運営委員会に出席した会員により推薦される。

第23条 会計監査委員は、必要に応じ随時会計監査を行うことができる。

第24条 会計監査委員の任期は1年とし、任期半ばで欠員が生じた場合、その後任は運営委員会の議を経て選任される。但し、補欠の役員の任期は残任期間とする。

第8章 総会

第25条 総会は、全会員をもって構成され、この会の最高議決機関である。

第26条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

第27条 定期総会は年1回開催する。臨時総会は、運営委員会が必要と認めたとき、又は会員の10分の1以上の要求があったときに開催する。

第28条 総会は、出席者と委任状の数が会員の現在数の過半数なければ議事を開き議決することはできない。

第29条 総会の議事は出席者の過半数で決する。

第9章 役員会、運営委員会及び各種委員会

第30条 この会の役員会、運営委員会及び各種委員会を置く。

第31条 役員会は、役員、校長、教頭及び教務主任で構成する。

2. 役員会は次の事項を処理する。

- (1) 運営委員会に提出する議案の作成
- (2) 緊急と認められた事項の審議及びその処理

第32条 運営委員会は、役員、常置委員会の正副委員長、校長、教頭、教務主任で構成する。ただし、会長が必要と認めた場合には、運営委員会の承認を得て前述以外の者を出席させることができる。

2. 運営委員会は、次の事項を処理する。

- (1) 総会に提出する議案及び報告書等の作成
- (2) 臨時総会の開催の決定
- (3) 役員候補者の選出及び会計監査委員の推薦
- (4) 役員に欠員を生じた場合の補充
- (5) 各種委員会に関する必要事項の決定
- (6) 委員会が立案した事業計画、予算案等の審議
- (7) その他この会の運営に関し必要と認めた事項の審議

3. 運営委員会の議決および承認は、運営委員会の構成員総数の2/3以上の出席がある運営委員会において出席者の過半数により行われる。

第33条 各種委員会の名称、任務、構成等は、各種委員会の定めるところによる。

第10章 細則

第34条 この会の運営に関し必要な細則は、この規約に反しない限りにおいて運営委員会の議決を経て定める。

2. 運営委員会は、細則制定又は改廃した場合には、その結果を次期総会に報告しなければならない。

第11章 改正

第35条 この規約は、総会において出席者の3分の2以上の賛成がなければ、改正することができない。但し、改正案は総会開催の少なくとも1週間前に全会員に知らせておかなければならない。

付則 この規約は平成 9年 4月19日から施行する。

付則 この規約は平成11年 4月24日から施行する。

付則 この規約は平成16年 4月24日から施行する。

付則 この規約は平成18年 4月22日から施行する。

付則 この規約は平成20年 4月16日から施行する。

付則 この規約は平成27年 4月25日から施行する。

2. 父母と先生の会（PTA）各種委員会細則

施行	昭和51年	4月10日
改正	昭和55年	3月1日
改正	昭和59年	3月1日
改正	昭和60年	3月23日
改正	昭和62年	3月14日
改正	昭和62年	4月18日
改正	昭和63年	4月24日
改正	平成2年	3月17日
改正	平成3年	3月16日
改正	平成4年	3月14日
改正	平成6年	4月23日
改正	平成10年	3月7日
改正	平成10年11月	21日
改正	平成14年	4月1日
改正	平成15年12月	6日
改正	平成16年	4月24日
改正	平成18年12月	2日
改正	平成20年	3月1日
改正	平成24年11月	10日
改正	平成26年	1月11日
改正	平成26年	5月17日
改正	平成27年	4月18日

第1条 （主旨）

PTAに置かれる常置委員会、特別委員会及び臨時委員会に関する必要な事項は、この細則の定めるところによる。

第2条 （常置委員会）

常置委員会及び特別委員会の名称、任務及び委員は別表1の通りとする。

2. 欠員が生じた場合必要に応じて、補欠の委員を選任することができる。補欠の委員の任期は前任者の残任期間とし、その選任は運営委員会の承認によって決定する。

第3条 （委員の任期）

委員の任期は1年とし、総会の承認によって決定する。ただし、再任を妨げない。

2. 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は前任者の残任期間とし、その後任は運営委員会の承認によって決定する。

第4条 （委員長、副委員長）

常置委員会に委員長及び副委員長1名を置く。その定員は別表1の通りとする。

2. 委員長は当該委員会を主催し、副委員長は委員長を補佐する。

第5条 （協力）

別表1の委員会がその任務を遂行するに際し、必要がある場合は、運営委員会を通じて他の委員会に協力を求めることができる。

第6条 （臨時委員会）

臨時委員会は必要に応じて設置し、その名称、任務、委員等はその都度定める。

附則 この細則は、昭和51年 4月10日から施行する。

附則 この細則は、昭和55年 3月 1日から施行する。

附則 この細則は、昭和59年 3月 1日から施行する。

附則 この細則は、昭和60年 3月23日から施行する。

附則	この細則は、昭和62年	3月14日から施行する。
附則	この細則は、昭和62年	4月18日から施行する。
附則	この細則は、昭和63年	4月24日から施行する。
附則	この細則は、平成2年	3月17日から施行する。
附則	この細則は、平成3年	3月16日から施行する。
附則	この細則は、平成4年	3月14日から施行する。
附則	この細則は、平成6年	4月23日から施行する。
附則	この細則は、平成10年	3月7日から施行する。
附則	この細則は、平成10年11月21日	から施行する。
附則	この細則は、平成14年	4月1日から施行する。
附則	この細則は、平成16年	4月1日から施行する。
附則	この細則は、平成16年	4月24日から施行する。
附則	この細則は、平成18年12月	2日から施行する。
附則	この細則は、平成20年	3月2日から施行する。
附則	この細則は、平成25年	4月1日から施行する。
附則	この細則は、平成26年	4月1日から施行する。
附則	この細則は、平成27年	4月1日から施行する。
附則	この細則は、平成27年	4月18日から施行する。

別表 1 常置委員会 及び 特別委員会

常置委員会

号	名 称	任 務	定員	委員長・副委員長の構成
1 2 3 4 5 6	1 学年委員会 2 学年委員会 3 学年委員会 4 学年委員会 5 学年委員会 6 学年委員会	保護者と教職員が相互に協力しながら児童の幸福な成長を助長できるように、各学年又は各学級を単位とするさまざまな行事や活動を企画・実施するとともに、各学年・学級内外の諸連絡事項を処理すること。	各学級より2名ずつ選出	各学年 委員長1名 副委員長1名
7	行事支援委員会	児童の学校における生活環境をよりよくするため、学校と連携して各種活動を支援すること。	会員より5名選出	委員長1名 副委員長1名
8	広報委員会	学校及び家庭での児童の教育と生活の向上に資する情報を会員に対して提供するとともに、PTA 活動の内容について会員内外に広報すること。	会員より5名選出	委員長1名 副委員長1名
9	校外委員会	学区内における児童の安全確保を図るため、交通安全指導、危険個所の把握、会員への周知活動を行うこと。	各地区より、計13名選出	委員長1名 副委員長1名
10	家庭教育学級委員	家庭教育学級の年間テーマを立て、それに沿った行事を企画・運営すること。	会員より4名選出	委員長1名
11	データベース委員会	会員情報を管理し、PTA 規約等及児童名簿を作成すること。 PTA ホームページの管理。	会員より2名選出	委員長1名
12	プール委員会	児童の健康維持及び体力向上を促進するため、夏休み期間のプール開放等を企画・実施すること。	会員より6名選出	委員長1名 副委員長1名

3. 慶弔規定細則

施行	昭和49年11月10日
改正	昭和51年7月1日
改正	昭和54年3月10日
改正	昭和55年3月8日
改正	昭和61年2月22日
改正	平成10年9月19日
改正	平成14年9月7日

竹園東小学校PTA慶弔規定を次のように定める。

1. 会員の死亡の場合、香料を贈り会葬する。
但し香料 10,000円 会員の児童の死亡の場合もこれに準ずる。
2. 教職員会員の転退会の場合、生花を贈る。
生花代は、5,000円を目安とし、会長裁量による。
3. 会員の住宅の火災及び水害等の被災については見舞金を贈る。
但し見舞金は10,000円を目安とし会長裁量による。
4. 教職会員結婚の場合、お祝い金10,000円を贈る。

上記4項目の金額については、年度当初に運営委員会においてこれを検討する。

- 附則 この細則は、昭和49年11月9日から施行する。
- 附則 この細則は、昭和51年7月1日から施行する。
- 附則 この細則は、昭和54年3月10日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。
- 附則 この細則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 附則 この細則は、昭和61年2月22日から施行する。
- 附則 この細則は、平成10年9月19日から施行する。
- 附則 この細則は、平成14年9月7日から施行する。

4. 旅費支給細則

施行 昭和52年5月21日
改正 昭和53年7月 1日
改正 平成10年1月31日

第1条 (趣 旨)

この細則は、竹園東小学校父母と先生の会規約第34条の規定に基づき、会務のため旅行する会員に対し支給する旅費の基準その他の取り扱いについて定めるものである。

第2条 (旅行依頼)

会員に対する旅行依頼は、会長が行う。但し、常置委員会活動に係るものにあつては、当該委員会の委員長が行うものとする。

2. 旅行依頼は、電話、郵便等の通信による連絡手段を用いては、会務の円滑な遂行を図ることができない場合で、かつ、予算上旅費の支給が可能である場合に限り行うことができる。

第3条 (旅費の支給)

会員が前条に規定する旅行依頼を受けて旅行したときは、当該会員に対し、次の各号に掲げる旅費を支給する。

- (1) 鉄道賃及び船賃のうち、普通運賃
- (2) 路線バスの運賃
- (3) 自家用車もしくはこれに準ずる交通手段によった場合は、別途定める
1km当たりの支給額により計算した実費負担額相当
- (4) 自家用車を使用した場合の高速(有料)道路使用料及び駐車場使用料
- (5) その他、旅行目的達成のために必要と認められる経費

2. 旅費は、原則として、もっとも経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の計算額分を支給する。ただし、当該旅行の目的達成に支障が出る場合は、この限りではない。

第4条 (旅費の請求)

旅費の支給を受けようとする旅行者は、所定の請求書(旅行依頼者宛)に必要な書類(領収書等)を添えて会計事務担当者に提出するものとする。

第5条 (細 目)

この細則に定めるもののほか、旅費の支給に関し必要な細目は、原則として年度当初の運営委員会においてこれを定める。

附 則 この細則は、昭和52年5月21日から施行する。

附 則 この細則は、昭和53年7月1日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則 この細則は、平成10年1月31日から施行する。

5. 会計年度の開始から予算成立までの予算執行に関する細則

施行 平成23年4月1日

竹園東小学校PTAにおける、会計年度の開始から予算成立までの予算執行に関し、次のように定める。

第1条. (主旨)

総会における予算成立以前には、予算の執行は認められないが、支出の伴う事業の開催時期が総会の直後等の場合、当該事業の準備のため、予算成立以前に予算を執行する必要がある。本細則は、このような場合の予算執行に関するものである。

第2条. (執行のための手続き)

予算成立以前に予算の執行が必要となる事業の担当委員は、予算執行が必要であることがわかった時点で速やかに会長にその旨を伝えるものとする。会長は、申し出が当該年度の第1回運営委員会以前の場合、当該年度の前年度の運営委員会で審議する。

2. 審議の上、予算執行の必要性が認められる場合、了承するものとする。

第3条. (会長の専権的判断)

第2条に記載の担当委員からの申し出が第1回運営委員会以後、総会以前の場合、会長は予算執行の必要性を判断し、緊急性、必要性が認められた場合、了承する。

2. 会長は、このような手続きで執行を認めた場合、第2回運営委員会において速やかに報告しなければならない。

3. 会長が予算執行の申し出をする場合は副会長に申し出をし、予算執行の可否の判断、運営委員会における報告は副会長が行うこととする。

第4条 (執行できる金額)

第2条、第3条の手続きで認められる予算執行の金額は、当該事業の予算額以内でなければならない。

附則 この細則は、平成23年4月1日から施行する。